

鈴木 更司 議員



Q 茨城県消防広域化推進計画について伺う

A 積極的な参画に努めております

Q 茨城県消防広域化推進計画に対して、本市に必要な条件とそれを満たすための準備は計画されているか伺います。

A 消防長 県南ブロックの広域化に係る問題等について協議するため、茨城県県南ブロック消防広域化研究会設置要綱を策定して参画の準備を整え、その後研究会や講演会、視察研修への参加や作業部会における調査研究などを実施してきた経緯がございます。近年においては、茨城県消防広域化推進計画の見直しが行われるとともに、通信システムの広域化など茨城県が主導して広域化に向けての基盤づくりが進められており、本市としても県の取組への積極的な参画や近隣自治体との連携強化に努めているところでございます。

Q 茨城県消防広域化推進計画に関する周辺自治体との関係について伺います。

A 消防長 本市においては、今年度から土浦市との職員人事交流を開始するなど、周辺自治体との広域化に向けて積極的に取り組んでおります。消防の広域化に関する意向調査においては、広域化したい、または広域化は必要と考えている自治体は6割を超える結果となっていることから、周辺自治体との柔軟な連携や協力など、広域化の実現に向けた取組を強化していきたいと考えております。

質問通告事項

321 市町村の消防の広域化に対する市の考え方について茨城県消防広域化推進計画に関する必要な準備について茨城県消防広域化推進計画に関する周辺自治体との関係について



映像はこちらからご覧ください



石澤 正広 議員



Q 観光産業発展のためにインフラ整備が必要、危険な交差点の整備について伺う

A 信号機の設置要望を含め、対策を講じてまいります

Q 過疎化対策について、歩道公園を中心とした観光産業の発展のためにインフラ整備が重要であり、歴史博物館脇の交差点とスーパーセイミヤ脇のT字路が危険であることから、信号機が必要であると考えます。設置の理由付けを地域の発展に欠かせない安全対策と位置づけて、粘り強く信号機設置へ向けて働きかけていただきたいと思います。考えをお伺いします。

A 市民部長 観光産業への重要なアクセス道路であるという観点から、本市を訪れる方の事故防止と地域住民の安全確保のため、土浦警察署と連携し、信号機の設置要望を含め、対策を講じてまいります。

Q 地域の活性化には、交流人口を増やすことが大切です。他市町村の田んぼアートやひまわり畑の活用といった先進事例のように、休耕地等で地域資源を活かして地域活性化の柱にできるようなプロジェクトを立ち上げて挑戦してみたいと思いますが、いかがでしょうかお伺いします。

A 市長公室長 過疎化対策と地域活性化の柱となるプロジェクトに挑むことの必要性については重要と理解しております。地域資源を活かした政策を立ち上げ、過疎化の進行を抑制し、活力ある地域社会の実現を目指してまいります。

Q 市民への情報伝達について、伝える広報から、伝わる広報への変革を進め、市民の暮らしを豊かにしている広報を目指していただきたいと思っております。考えをお伺いします。

A 市長公室長 広報誌の改善や職員の意識改革などに取り組み、市全体としての発信力を高める取り組みを進めてまいります。

Q 保健福祉部長 市法令審査会での審査や庁内での手続き、意見公募等を経て、市議法令和7年第一回定例会で本条例案を提案し、令和7年4月1日の制定に向けて準備を進めております。

質問通告事項

1 市内全域で過疎化が進んでいる地域の将来の展望と活性化について
432 市民への日常的な情報伝達と周知について
夜間における市民からの問合せ対応について
手話言語条例の制定について



映像はこちらからご覧ください



▲歴史博物館前交差点

質問通告事項

1 本市の道路・交通体系を踏まえ、幹線道路（1・2級）整備の現状（計画路線を含む）に対する認識課題について

2 1・2級路線認定見直し再構築について

3 今後の1・2級幹線道路整備方針計画について



映像は
こちらから
ご覧ください



井出 有史 議員



Q 本市の幹線道路網の再編を実施していくお考えがあるか伺う

A 現時点で具体的再編成案をお示しすることが難しい状況でございますが、今後も再編につきましては検討してまいります

Q 1・2級路線選定を見直し、道路交通ネットワークを再構築していく必要性について伺う。

A 都市建設部長 認定路線の見直しにつきましては、道路状況も大きく変化しておりますので、認定路線の見直しを検討してまいりたいと考えております。また、市の発展を見据え、道路網の整備として、現在、（仮称）石岡・かすみがうら広域幹線道路整備事業や、（仮称）千代田P.AスマートICの整備を進めております。さらに、周辺道路の整備も進めていく必要があると考えております。今後とも、住民の皆様の生活環境の改善に資するよう、道路整備を進めてまいりたいと考えております。

Q 1級路線については、（仮称）石岡・かすみがうら広域幹線道路が整備中であるが、この路線以外で整備の必要な路線はないのか伺う。

A 都市建設部長 通学路の状況や将来の交通量を考慮すると、確かに整備が必要と思われる路線は存在します。しかしながら、現時点では新規事業の具体的な計画は策定されておりません。今後、総合計画の見直しを進める中で、整備の必要性が特に高い路線を具体的に洗い出し、新たな計画策定に向けて取り組んでまいります。

質問通告事項

2 水道事業における水道広域化と民営化について

1 霞ヶ浦コミュニティセンター（旧あじさい館）の浴室について

3 地球温暖化対策に対する家庭への支援について

4 入札制度の改革について



映像は
こちらから
ご覧ください



佐藤 文雄 議員



Q 霞ヶ浦導水事業の水開発事業は、確実に水道料金の引上げにつながるのではないかと、市の考えを伺う

A 水道料金にどれだけ影響があるか把握はできてございません

Q 私は、これまで茨城県の人口が減少することは明らかで、大量の水が余っていることから、八ッ場ダム建設や霞ヶ浦導水事業は中止すべきだと再三指摘してきました。これらの水開発事業は、確実に水道料金の引上げにつながると思いますが、いかがお考えでしょうか伺います。

A 市長 霞ヶ浦導水事業が水道料金にどれだけ影響があるかということに関しては、数字の把握はできていません。今回県が実施したシミュレーションは、将来の水需要予測を基に霞ヶ浦導水事業で確保した水源を活用することとしており、建設に係る費用の一部を見込んでシミュレーションを実施していると聞いております。

Q 霞ヶ浦コミュニティセンター（旧あじさい館）の浴室について、調査結果と今後の市の方針について伺います。

A 市民部長 浴室施設を改修することとした場合、現状での運営が可能となる最低限の改修とする緊急避難的改修方法（約5000万円程度の費用）と、浴室施設全体を改修する全面改修方法（設計含め約5億円程度の費用）があります。浴室施設につきましては、慎重に判断してまいりたいと考えております。

塚本 直樹 議員



Q 現在の霞ヶ浦庁舎駐車場の利用ルールと活用状況についてお伺いします。

A 総務部長 通常の業務を妨害したり、庁舎内の秩序、適正な管理または災害の防止に支障をきたさないものであれば、事前に許可を得て、イベント会場として霞ヶ浦庁舎駐車場を利用することは可能であります。また、利用状況でございますが、現在は毎日の送迎バスの乗降場所として、それ以外にも単発的に、市や関係団体のイベントや催しの際の駐車場や送迎バスなどの乗降場所として利用いただいております。

Q 霞ヶ浦庁舎駐車場は国道354号に面し、立地のよい場所であり、地域の賑わい創出の観点から、マルシェやイベント等を実施すべきと考えますが、市の考えをお伺いします。

A 産業経済部長 霞ヶ浦庁舎は、国道354号沿いに立地しており、マルシェやイベントの開催場所として活用できる魅力的な場所であると認識しております。ファーマーズマーケットや青空市、朝市などの農産物直売、キッチンカーによる飲食販売といったものが各地で開催されており、盛況を博していることを認識しておりますので、ぜひ民間の皆様にご利用いただくことを期待しております。

質問通告事項

21 地域おこし協力隊について
土日の霞ヶ浦庁舎駐車場のマルシェやイベント等への有効活用について



映像はこちらからご覧ください



▲霞ヶ浦庁舎駐車場

Q 土日の霞ヶ浦庁舎駐車場のマルシェやイベントなどへの有効活用について伺う

A 民間の皆様にご利用いただくことを期待しております

設楽 健夫 議員



Q 都市計画に関して、図書館交流施設検討委員会の設置及び財源について伺う。

A 市長公室長 市街地に設置し市民の皆様の文化的な情報や交流の場として重要な役割を担う図書機能を有する施設ですが、学識経験者や各種関連団体の方、市の職員など10名以内で構成して、幅広い視点からの議論を尽くすことにより、最も効果的かつ効率的な計画の策定を進めてまいります。

A 市長 都市計画税は都市計画事業、地区画整理事業に充当する内容で、税率0.3%を上限として自治体が設定できます。土浦市や石岡市が導入しておりますが、かすみ市が導入されております。仮定では税額年2億7125万9000円になります。兩排水の問題や、都市機能の向上にも多額の費用がかかりますので、あらゆる財源を検討しなければならぬことから、しっかりと調査研究をしていきたいと考えております。

Q 霞ヶ浦の漁業における温暖化対策あるいは水質対策について伺う。

A 産業経済部長 霞ヶ浦では特にワカサギの漁獲量が減少しており、地球温暖化等による気候変動に起因した霞ヶ浦の高温の影響によるものと関係者の方々から伺っております。本市では、霞ヶ浦の水産資源を確保する政策として、茨城県や霞ヶ浦漁業協同組合等と連携し、ワカサギの人工ふ化放流事業、ウナギの放流を毎年実施しております。ウナギの放流事業につきましては、国等の交付金を活用し、平成26年度から継続して実施しております。令和5年度はウナギの種苗437キログラムを放流しました。また茨城県では、霞ヶ浦北浦漁業構造改革緊急対策事業として、トロール漁の漁業者に対し、定置性漁法の漁具購入費等の3分の2を補助、定置性漁法の技術を習得するためにトロール漁に出ない期間の損失補填として、10日分を上限に1日当たり2万5000円の奨励金を支給しております。定置性漁法では、ハクレンやアメリカナマスなどの未利用魚が獲れ、県では未利用魚を魚粉に加工し、飼料や肥料として有効活用する取組など、漁業者の新たな収入源にもつなげる事業を展開しております。本市といたしましても、水産業の振興を図るため支援策について検討してまいります。

質問通告事項

321 都市計画と財源について
基幹産業の農業と漁業について
行政改革・一次方程式型の行政力（生産性）
向上とマネジメントについて



映像はこちらからご覧ください

Q 図書館交流施設検討委員会の設置について伺う

A 最も効果的かつ効率的な計画の策定を進めてまいります



21 下稻吉中学校屋内運動場について
小・中・義務教育学校児童生徒に配布されている
タブレット端末について



映像は
こちらから
ご覧ください

質問通告事項

状況にもよりますが、通常の使用が難しいような破損であった場合には、学校へ申し出てもらって予備機と交換するといった対応も行っております。



櫻井 健一 議員



Q 新たな下稻吉中学校体育館の2階の南側・北側部分を、大会や練習試合の際に応援席として使用できないか伺う

A 現在の構造上、通路の幅など要件を満たす改修は困難ですので、2階東側ギャラリーや移動式観覧席の利用をしていただければと考えております

Q 新たな下稻吉中学校体育館の2階の南側・北側部分を応援席として利用することができないならば、西側のステージを観覧席（観覧場所）とすることはできないのか伺います。

A 教育部長 可能な範囲で配慮できるよう、学校現場にもお願いしていきたいと考えます。

Q 先日、授業参観に行った際にタブレット端末のキーボードが何箇所か取れてしまっているまま使用している生徒がおりました。生徒は自分が壊してしまったと思い、不具合を申し出づらくなることも想定できますが、端末や充電器などの付属品の不具合などは誰が管理しているのでしょうか、伺います。

A 教育部長 児童生徒には、「破損等の不具合が生じた場合は学校へ報告し指示を仰ぐこと」と当初に伝達をしておりますが、改めて、児童生徒への周知を随時行ってまいります。また、児童生徒自身では、不具合の判断がしにくい状況も想定されますので、教職員側においても適宜、状況を確認するよう努めてまいります。なお、個々の破損状況にもよりますが、通常の使用が難しいような破損であった場合には、学校へ申し出てもらって予備機と交換するといった対応も行っております。

32 霞ヶ浦コミュニティセンター（旧あじさい館）内、利用できなくなっている入浴施設について
多目的運動公園の照明施設について
パブリックコメント（意見公募手続き）について



映像は
こちらから
ご覧ください

質問通告事項

A 市長公室長 合併特例債の目的となる部分を踏まえた上での計画的な利用というのが必要ですので、現在のところ、残りが少なくなっています。発行可能額には、消防庁舎への活用を考えておりますので、霞ヶ浦コミュニティセンターは別の財源のほうを手当てしたいと思っております。

来栖 丈治 議員



Q 大規模修繕に対しては合併特例債の活用で対応可能と判断できるか考えを伺う

A 霞ヶ浦コミュニティセンターは別の財源のほうを手当てしたい

Q 東日本大震災で断水、停電の際に、霞ヶ浦コミュニティセンター（旧あじさい館）のおかげで助かったという市民は少なくありません。避難所開設の際は、霞ヶ浦コミュニティセンターが活躍してきました。今後も緊急事態や有事の避難所として、霞ヶ浦コミュニティセンターはこれまでも、これからも大切な施設です。災害の折、被災者に対して優しい入浴施設があり続けられ、これ以上ない災害対策になるのではないのでしょうか。今ある施設の創意工夫で、住民サービス向上につなげるこそが行政のあるべき姿と私は考えます。これまでにやらなければならなかった問題と考えた上で、10万人の利用者のある市内最大の交流施設であり、入浴施設だけでも6万5000人の利用があり、利用状況は霞ヶ浦地区が6割、千代田地区が4割だと伺いました。そのため、大規模修繕に対しては合併特例債の活用で対応可能と判断できますが、いかがでしょうか伺います。

A 市民部長 霞ヶ浦コミュニティセンターは、浴室についても、避難生活が長引くなどした場合には非常に有効な施設であると考えております。しかしながら、災害時における対応につきましては、また別に検討する必要があると考えております。同センターは、開館から26年が経過し、老朽化していることから、空調設備や照明施設、高圧受変電設備の改修なども行っていく必要がございます。浴室施設の再開につきましては、それらも踏まえ、今後慎重に検討してまいります。

